



「6秒ルール」などで、暴言や威圧的な指導にブレーキを！

県内一斉服務規律強化月間(前期)の実施状況を報告いただきました。各学校並びに各市町村教育委員会におけるコンプライアンス推進の着実な取組に感謝申し上げます。

一方、職員の気になる言動として、**暴言や威圧的な指導**などが散見されます。これらは、体罰と同様、児童生徒を傷つけ、学校への信頼を失わせる不適切な行為です。事案が発生すれば、学校としての対応が求められ、懲戒処分の対象となる場合もあります。

暴言や威圧的な指導は、怒りなどで感情的になった場合に起こりがちです。事案発生を防ぐ手法の1つが、「**6秒ルール**」です。一般的に、怒りを感じてから冷静に考えられるようになるまで、6秒程度かかると言われています。**カッとなくなってしまっても、6秒抑えられれば冷静な思考を取り戻せる**ことが多いようです。6からカウントダウンしたり、深呼吸をしたり、「怒らなくても大丈夫」と心の中で繰り返し唱えたりするなど、意識的にタスクとして自分に課すことをおすすめします。

他にも、相手との距離をそれまでよりも空けること、その場から一旦離れることなども効果があるようです。そのためにも、児童生徒と一対一での指導にならないように、**学校としての指導体制の確認**をお願いいたします。

また、「6秒ルール」などを含むアンガーマネジメントに関する職員研修も、効果が期待できます。

これからも、一人一人が暴言や威圧的な指導に対する意識を高くもつとともに、防止に向けての組織的・計画的な取組をお願いいたします。



【担当:副参事補 本部】

「指導教諭による授業公開[中部スタイル]」がスタートしました！

中部教育事務所では、**指導教諭による授業公開(中部スタイル)**を実施しています。指導教諭の授業から、授業改善のヒントを得るとともに、中部教育事務所の学力向上プロジェクト(授業改善版)の具現化を目的としています。

9月16日に行われた、桑原麻里指導教諭(江平小)4年算数「割合」の授業公開を皮切りに、これまでに4本の公開が行われました。授業を提供していただいた指導教諭のみなさまに深く感謝申し上げます。



桑原指導教諭(江平小)の授業を参考に、ワークショップにおいて、参加された先生方自身が担当する1単位時間の指導案を考え、発表しました。

内之倉指導教諭(大淀中)は、長江川(えびの市)の水質浄化という実生活を想起しやすい題材で授業が展開されました。



三角指導教諭(清武小)は、「なぜ江戸幕府は260年続いたのか？」の問いを協働的な学びで解決する授業をされました。

江藤指導教諭(妻北小)の公開授業では、授業改善の4つの視点を参加された先生方の授業に生かす方を協議しました。



～授業公開に参加された先生方の感想より～

- 子供達が主体的に学ぶ姿に感動しました。協働的な学びにより、多様な考えに触れながら考えをまとめていく過程がすばらしかったです。
- 1単位時間を組み立てる時に、身に付けさせる資質・能力を明確にした上で教材研究をしなければいけないと感じました。明日からの授業に大変参考になる授業公開でした。

※「指導教諭による授業公開[中部スタイル]」は、9月から1月まで計画しております。

問合せ先：中部教育事務所
(担当:河野)

TEL (0985) 44-3322
代表アドレス chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

Fax (0985) 44-3330

中部教育事務所は、各学校のマネジメント力を高め、チーム学校としての教育力向上を支援します。